

平成26年度

全国学力・学習状況調査の 結果について



平成26年度 海西中イメージキャラクター「カイチュウ」
全校生徒からの公募と投票で決まりました。

海老名市立海西中学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）
- 国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

- 国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）
- 国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

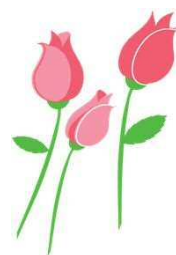
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

「話す・聞く」能力に優れています。

特に、設問1の二で問われた、必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理する「聞く」力に優れています。

また、設問6の二で問われた、話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる「話し合う」力に優れています。

「読む」能力に優れています。

特に、設問3の一で問われた、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てる「文章の解釈」に係る力に優れています。

《努力を要する所》

「言語についての知識・理解・技能」に努力を要します。

設問8の一で問われた、文脈に即して漢字を正しく書く力に課題が見られます。特に円の「半径」を書く問いで、「径」の書き誤りが多く見られました。これは小学校第4学年の配当漢字です。

また、設問8の三で問われた、語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使う力に課題が見られます。特に文化の「継承」について「敬称」を選択する誤りが多く見られました。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

「読む」能力に優れています。

特に設問2の二で問われた、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る「読書と情報活用」に係る力に優れています。

また、設問3の二で問われた登場人物の言動の意味を考え、その姿を想像する力にも優れています。

「関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」を総合的に活用する力に優れています。設問3の三で問われた、話の展開、登場人物の人物像や心情の変化などを基に場面を想像し、根拠となる本文を引用したり要約したりして自分の考えを書く力に優れています。

《努力を要する所》

「書く」能力に努力が期待されます。

特に設問2の三で問われた、資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるよう、分かりやすく説明する力に努力が必要です。

指定された語句を使うこと、定められた字数で書くことは大半の生徒がクリアしています。誤答の多くは「理由を適切に書くこと」が不十分なためでした。全国的に正答率の低い設問ですが、無解答率が、全国平均よりとても低かったことは評価できます。

今後の具体的な取組

- 小学校の配当漢字の復習(書き取り)を計画的に行います。その際、同音異字及び小学校第4学年配当漢字に特に留意します。また、同音異義語についても特化した取り組みの時間を計画的に設けるようにします。
- 話し合い活動、意見発表、論述などの言語活動で、「説明」する場面を多く設けます。その際、理由を明確にして相手に分かりやすく説明することに重点を置いた指導を積み上げていきます。

数学に関する調査結果

数 学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

「関数」の領域における、「知識・理解」に優れています。

特に設問の12で問われた、連立二元一次方程式の解が、座標平面上の2直線の交点の座標として求められることをよく理解しています。

「資料の活用」領域における「数学的な技能」に優れています。

特に設問の14の(2)で問われた、樹形図などを利用して、確率を求める力に優れています。

《努力を要する所》

「数と式」の領域における「数学的な技能」に努力を要します。

特に設問1の(2)で問われた、指数を含む正の数と負の数の計算に課題が見られます。 (-5^2) を (-5×5) とすべき理解が不十分な誤答が多くありました。

「図形」の領域における、「数学的な技能」に努力を要します。

特に設問4(3)で問われた、図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取る力に課題が見られます。回転移動の特徴と関連付けて捉えず、角の大きさを基に判断した誤答が半数以上に見られました。

数 学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

設問全体をとおして、無解答率が、全国平均よりとても低いことが評価できます。

「数と式」の領域における、「数学的な見方や考え方」に優れています。

特に設問2の(1)で問われた、文字を用いた式で数量や数量の関係をとらえて説明したり、目的に応じて式を適切に変形したりする力に優れています。

「図形」の領域における、「数学的な見方や考え方」に優れています。

特に設問1の(3)で問われた、空間における直線や平面の位置関係を知る力や、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取り、問題解決の方法を数学的に説明する力に優れています。

《努力を要する所》

「資料の活用」の領域における「数学的な見方や考え方」に努力を要します。

特に設問5の(2)で問われた、不確定な出来事の起こりやすさの傾向をとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られました。

確率または場合の数の数値や用語に誤りがあり、誤答となったものが多く見られました。

今後の具体的な取組

- 数と式については、誤りのある計算例を取り上げ、計算の方法や順序を確認する場面を意図的に設け、確実に計算できるよう指導します。
- 図形の移動については、きまりに従って移動していることを視覚的に捉えたり、移動の性質を自ら見いだしたりする場面を設定することに留意し指導します。
- 資料の活用、特に確率の学習については、樹形図を利用して見落としや重なりがないよう「場合の数」を数えあげる活動、それを用いて確率を求め予想を確かめる活動、さらに、確率を根拠として簡潔に分かりやすく説明する活動の場면을多く設けていきます。

生徒質問紙の結果より

学習について

※ 数値の単位は%、() 内は全国平均

《よかった所》

「国語の授業がよく分かりますか」の質問に「当てはまる」が31.9(22.6)、「どちらかと言えば当てはまる」が52.1(49.4)、計84.0(72.0)で、プラス12となっています。

質問58で問われた、内容を理解しながら文章を読んでいますかという趣旨の質問にも肯定的な回答が79.8(67.5)でプラス12.3となっています。

「数学の授業がよく分かりますか」の質問に「当てはまる」が44.1(33.0)、「どちらかと言えば当てはまる」が34.0(38.5)、計78.1(71.5)で、プラス6.6となっています。

《課題と思われる所》

「読書は好きですか」の質問に、「当てはまる」が42.0(45.9)、「どちらかと言えば当てはまる」が23.9(23.5)、計65.9(69.4)でマイナス3.5となっています。

「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」の質問に、「当てはまる」が42.0(45.4)、「どちらかと言えば当てはまる」が28.7(34.6)、計70.7(80.0)でマイナス9.3となっています。

「総合的な学習の時間の学習内容は普段の生活や社会に出たときに役立つと思いますか」の質問に、「当てはまる」が26.1(23.0)、「どちらかと言えば当てはまる」が41.5(48.2)、計67.6(71.2)でマイナス3.6となっています。

生活について

《よかった所》

自尊心が高いです。

特に「自分にはよいところがありますか」の質問に「当てはまる」が35.1(24.3)、「どちらかと言えば当てはまる」が38.8(42.8)、計73.9(67.1)で、プラス6.8となっています。

規範意識が高いです。

特に「学校の規則を守っていますか」の質問に「当てはまる」が70.7(55.6)、「どちらかと言えば当てはまる」が26.6(37.4)、計97.3(93.0)で、プラス4.3となっています。

学習習慣についても、平日の学校以外の勉強時間が1日あたり1時間以上が82.5(67.9)でプラス14.6となっています。

また、「協力してやり遂げうれしかったことがありますか」の質問に「当てはまる」が71.8(58.5)、「どちらかと言えば当てはまる」が21.3(26.0)、計93.1(84.5)で、プラス8.6となっています。

《課題と思われる所》

生活習慣には課題が見られます。

特に「毎日同じくらいの時間に寝ていますか」の質問に「当てはまる」が28.2(29.4)、「どちらかと言えば当てはまる」が39.9(44.7)、計68.1(74.1)で、マイナス6.0となっています。

また、携帯電話やスマホの使用時間(ゲームを除く)で1日2時間以上が38.3(32.7)で5.6多い結果となっています。

今後の具体的な取組

- 読書については、朝読書の一層の充実を図るとともに、生徒会図書委員会や学校図書館支援員(司書)との連携により、図書室の利用率向上に努めます。
- 各教科指導では、授業で使用するワークシートについて、穴埋め式に偏ることなく、自分の考えやメモなどを主体的に記入できる形式を工夫します。総合的な学習の時間はPDCAサイクルを意識した探究的な学習の一層の充実に努めます。
- 生活習慣については、学級会活動、保健体育の授業、保健便り等で、その重要性の啓発に努めるとともに、保護者との連携をさらに進め、意識の共有を図ります。

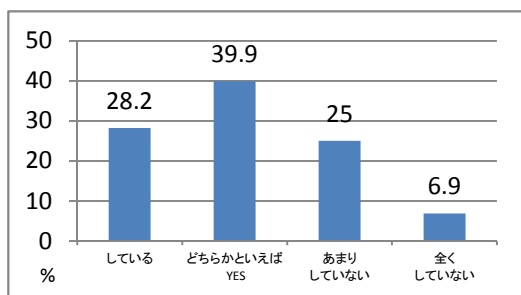
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 生活のリズムを整えましょう。

同じくらいの時間に寝て、同じくらいの時間に起きて、睡眠時間をしっかり確保しましょう。

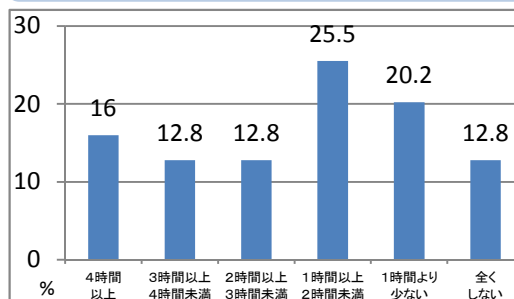
毎日、同じくらいの時間に寝ていますか



2 家庭で過ごす時間の管理をしましょう。

制限なく気分次第で時間を使うのではなく、時間の目安をもって過ごしましょう。

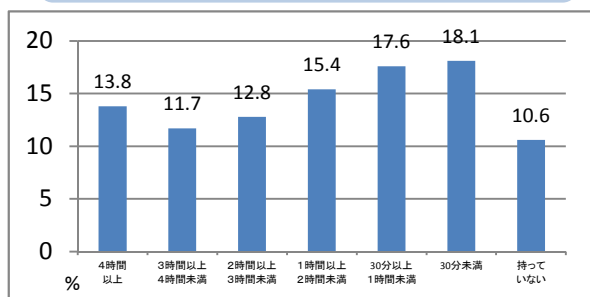
普段、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか



3 スマホなど、家庭でのルールを確認しましょう。

過度の使用は、睡眠不足の原因にもなります。時間の約束を作り、それを守りましょう。

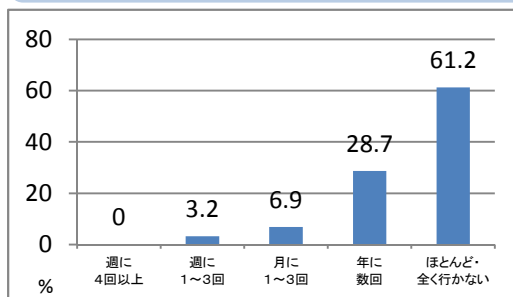
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか



4 読書の機会を広げましょう。

読書は自分の世界を広げてくれます。学校の図書室や地域の図書館に行ってみましょう。

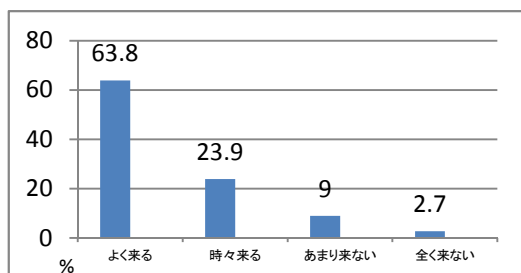
昼休みや放課後、休日に図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか



5 お子様の学校での様子をご覧ください。

多くのご来校に感謝しております。お子様の励みになります。ご家庭での話題も増えます。

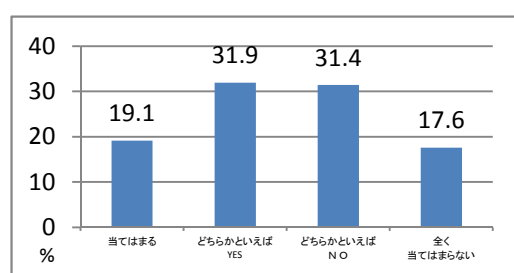
家の人(兄弟姉妹を除く)は授業参観や体育祭などの学校の行事に来ますか



6 地域や社会に関心をもちましょう。

ご家族でも、地域のことや社会で起こる出来事について話をする場面を増やしましょう。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・数学科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



人間関係作りの学習計画を作成します。



いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



体力・運動能力の向上をめざします。



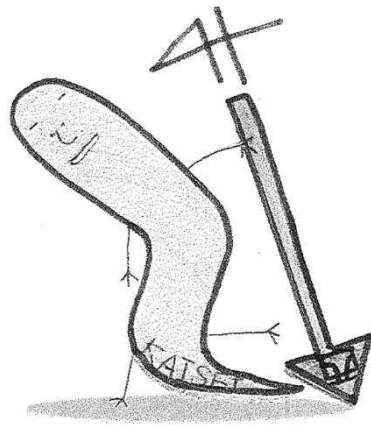
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会



平成26年度 海西中イメージキャラクター 次選「タブブー」

平成26年12月